

## オートカマ

簡易ボイラ (油だき)

給湯・暖房用 AWH シリーズ

給湯専用貯湯型 AWS シリーズ

AWH- 501A,	501SA	AWS- 501A,	501SA
AWH- 601A,	601SA	AWS- 601A,	601SA
AWH- 701A,	701SA	AWS- 701A,	701SA
AWH- 801A,	801SA	AWS- 801A,	801SA
AWH- 901A,	901SA	AWS- 901A,	901SA
AWH-1001A,	1001SA	AWS-1001A,	1001SA
AWH-1201A,	1201SA	AWS-1201A,	1201SA
AWH-1501A,	1501SA	AWS-1501A,	1501SA
AWH-1801A,		AWS-1801A,	
AWH-2001A,		AWS-2001A,	

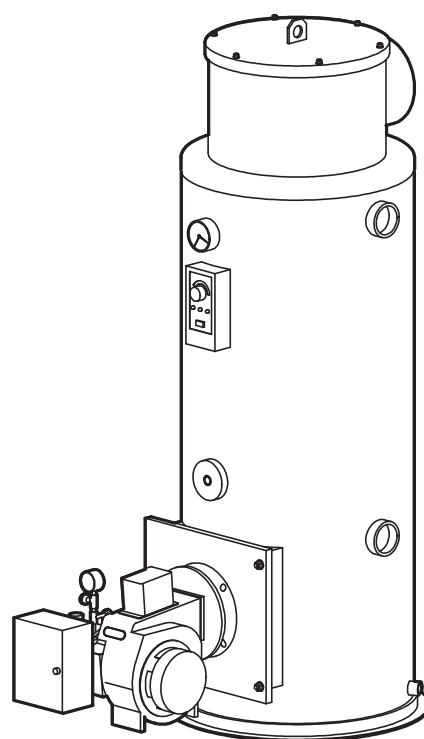
## お客様へ

このたびはネポン製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、十分に理解してください。

お読みになった後は、手元においてご使用ください。

- ◎この製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。
- ◎この製品は給湯・暖房用です。他の用途には使用しないでください。



# もくじ

## 取扱編

1	安全上のご注意	2
2	製品型式記号と意味	7
3	各部のなまえとはたらき	8
3-1	外観図	8
3-2	制御部	10
3-3	銘板	11
4	使用前の準備	12
4-1	燃料	12
4-2	給油	12
5	運転前の確認	13
5-1	給水の確認	13
5-2	ゲージ圧の確認	13
5-3	水漏れの確認	14
5-4	地震感知器の確認	14
5-5	オイルタンクおよび油配管の確認	15
5-6	煙道・煙突・給排気口の確認	16
5-7	電源の確認	16
5-8	エア抜き	17
6	使用方法	18
6-1	運転	19
6-2	停止	19
6-3	停電発生時の処置	20
6-4	凍結予防について	20
7	安全装置	21
8	日常の点検・お手入れ	23
8-1	毎日の点検・お手入れ	23
8-2	月に1～2回の点検・お手入れ	24
8-3	6カ月に1～2回の点検・お手入れ	24
9	長期間使用しないときのお手入れ	25
9-1	凍結予防のしかた	25
10	故障・異常の見分けかたと処置方法	27
11	部品交換のしかた	29
12	仕様	30
12-1	仕様	30
12-2	配線図	31
13	据え付け工事の確認	33
13-1	据え付け工事の確認	33
13-2	防錆剤(サビノンシリホス)供給装置の取り付け	35
13-3	バイパス配管の取り付け	35
13-4	熱交換器の取り付け	36
13-5	据え付け工事後の確認	36
14	移設・廃棄・譲渡	38
■	定期点検・お客様登録	40
■	保証とアフターサービス	41

## その他

# 取扱編

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、業務用施設や家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します。

- 図記号の意味は、次のようになっています。



△は、注意（危険、警告を含む）を示します。  
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。  
左図の場合は「回転注意」を示します。



⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。  
具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。  
左図の場合は「分解禁止」を示します。



●は、強制（必ずすること）を示します。  
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。  
左図の場合は「アース工事をすること」を示します。

## ネポン指定以外の部品などの取り付けについて

ネポン指定以外の部品などの取り付けおよび使用は、製品の性能を損ねる改造行為となります。

改造行為を行った場合、当社は保証期間内でも製品に関する一切の責任は負いません。ネポン指定以外の部品などの使用による事故、機器の故障およびその他のトラブルなどは、すべてお客様の責任の範囲で処置いただくこととなります。

## ⚠ 危険



ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しない  
爆発や火災の原因になります。

## ⚠ 警告



転用禁止

給湯・暖房以外の用途で  
使用しない  
故障や事故のおそれがあります。



指定燃料以外使用禁止

本体銘板に記載された燃料以外  
は使用しない  
機器故障の原因や製品寿命を損な  
うおそれがあります。



給排気注意

運転するとき、室内の給気・排  
気をし、十分換気をする  
換気が不十分な場合、室内が酸素  
不足となり、不完全燃焼をおこす  
おそれがあります。



煙道・煙突  
外れ危険

煙道・煙突が外れたままで使用  
しない  
外れていると運転中に排ガスが室  
内に漏れて、危険です。



煙道・煙突  
閉そく危険

煙道・煙突がつまったり、ふさ  
がれたままで使用しない  
閉そくしていると運転中に排ガス  
が室内に漏れて、危険です。



給気口  
閉そく危険

給気口付近に、物を置いたり雪な  
どでふさがれたままで使用しない  
ふさがれているときは、取り除い  
てください。  
閉そくしていると運転中に排ガス  
が室内に漏れて、危険です。



衣類の乾燥  
厳禁

衣類などの乾燥には使用しない  
衣類が落下して火がつき、火災の  
おそれがあります。



指定部品  
使用

オプション品（別売品）もネポ  
ン指定品を使用する  
指定以外の部品を使用すると、事  
故・故障のおそれがあります。



専門業者

移設工事は必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所へ依頼する  
移動工事はお客様ご自身では行わないでください。  
不備があると、感電や火災のおそれがあります


**注意**

**高温部  
接触禁止**

燃焼中や消火直後は、高温部（バーナ周辺や煙道・煙突）に手など触れない  
やけどのおそれがあります。


**高温注意**

給湯栓を開いた直後は、熱いお湯が出ることもあるので、手や顔を近づけない  
やけどのおそれがあります。


**可燃物  
近接禁止**

機器の周辺に可燃物を近づけない  
火災のおそれがあります。


**危険物  
近接禁止**

機器の周辺に危険物を近づけない  
火災や爆発のおそれがあります。


**囲い禁止**

機器や排気口を波板などで囲わない  
不完全燃焼や火災のおそれがあります。


**分解修理・  
改造の禁止**

分解・修理・改造はしない  
ご自分で修理などを行い、使用されますと事故のおそれがあります。


**異常時  
使用禁止**

異常（異音・異臭）を感じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する  
異常のまま使用すると感電や火災のおそれがあります。


**電源コード  
を傷めない**

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしない  
火災や感電のおそれがあります。


**元電源を切る**

長期間使用しないときは、配電盤の元電源を切る  
火災や予想しない事故のおそれがあります。


**ぬれた手  
禁止**

ぬれた手で、スイッチなどを操作しない  
感電のおそれがあります。



**水道法以外  
の水の  
使用禁止**


水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する  
故障や水漏れのおそれがあります。



**油漏れ  
確認**


油漏れがないことを確認する  
火災や公害のおそれがあります。


 **注意**


 **油漏れ時  
使用禁止** 油漏れがある場合は機器の使用を中止し、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する  
火災や公害のおそれがあります。


 **飲料用  
使用禁止** 飲料用として使用しない  
ひふ障害や、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。


 **回転部注意** 回転部には手を触れない  
けがのおそれがあります。


 **接触禁止** 運転中は、点火トランスやそのリード線には触れない  
感電のおそれがあります。


 **基礎工事** 機器は金属以外で不燃性のしっかりとした床面に設置されているか確認する  
火災や転倒のおそれがあります。


 **施工確認** 据え付け工事が正しくされているか確認する  
不備があると感電や火災のおそれがあります。


 **機器への  
乗降禁止** 機器本体や燃料配管などに乗らない  
けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

 **水抜き注意** 機器の水抜きをするときは、危機が冷えてから行う  
やけどのおそれがあります。

 **元電源を  
切る** 地震・雷が発生したときは、速やかに運転を停止し、燃料バルブを閉じ、配電盤の元電源を切る  
火災や機器損傷のおそれがあります。

 **アース工事  
確認** アース線が確実に接続されているか確認する  
故障や漏電のときに感電をするおそれがあります。

 **基礎工事** 基礎工事は確実にされているか確認する  
転倒や火災のおそれがあります。

 **適正な  
オイルタンク  
使用** 適正なオイルタンクを使用する  
ドラム缶など使用しないでください。火災のおそれがあります。



## 注意



定期点検

日常の点検・お手入れは必ず行う  
機器が故障するおそれがあります。



元電源を切る

点検やお手入れをするときは、送油バルブを閉じ、機器を停止させ、配電盤の元電源を切ってから行う  
けがや感電のおそれがあります。



定期点検

屋外設置の場合、雨天時に点検やお手入れを行うときは、本体内部機器に雨水がかからないようにする  
感電のおそれがあります。



凍結予防

凍結予防を必ず行う  
機器破損のおそれがあります。



定期点検

定期的に点検・整備を受ける  
整備不良がありますと、事故のおそれがあります。



取扱説明書添付

譲渡のときは取扱説明書を添付する

お使いになっている機器を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を機器の目立つ所にテープ止めしてください。



専門業者

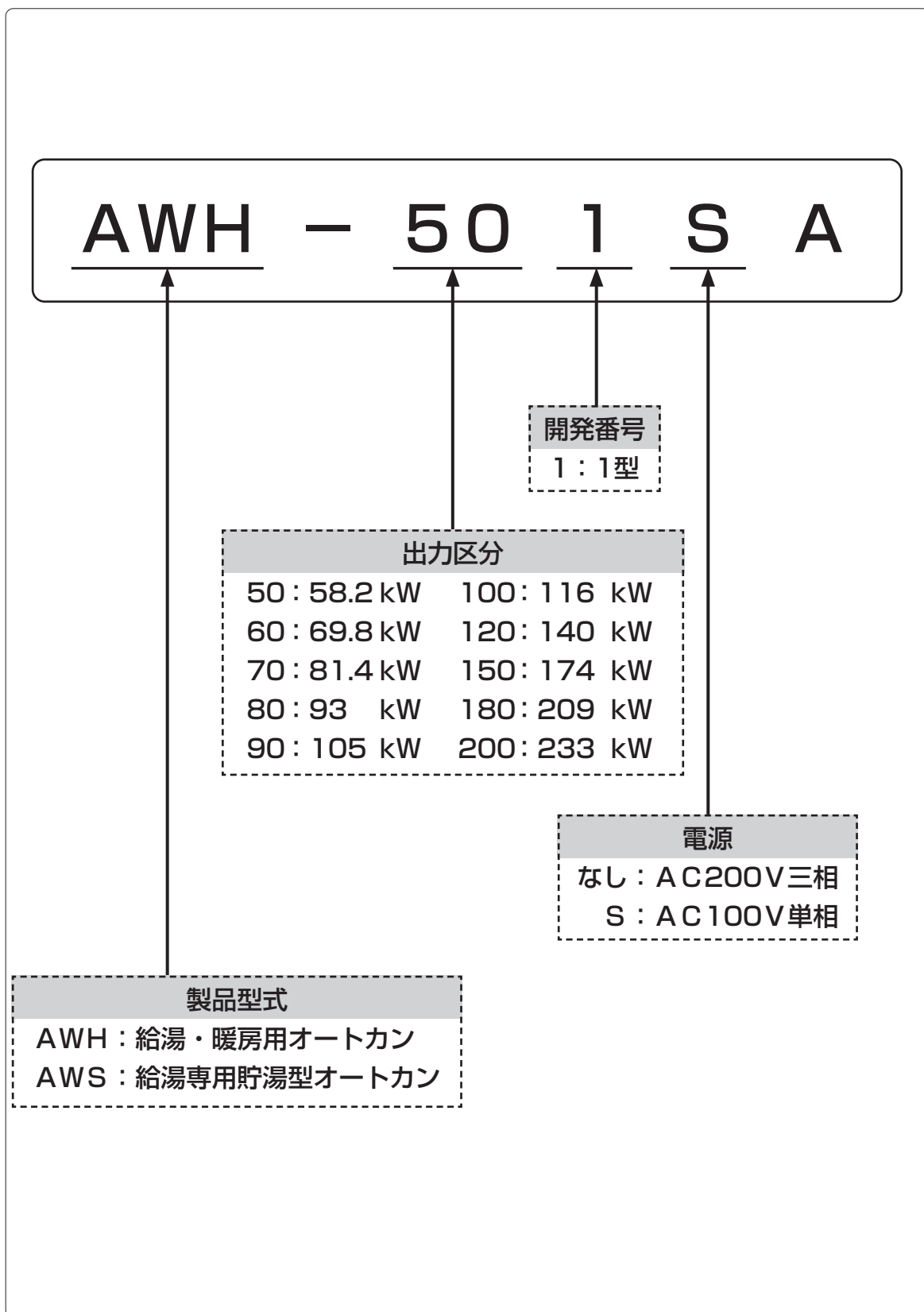
廃棄は専門業者へ依頼する  
廃棄する場合は、必ず専門業者に依頼してください。絶対に投棄などはしないでください。



# 製品型式記号と意味

■お買い上げいただいたオートカンの型式は、以下のような意味を表しています。

- 取扱説明書の中で、型式の違いにより説明内容が異なる場合があります。
- 製品に貼り付けてある主銘板をご覧になり、該当する機種をご確認ください。

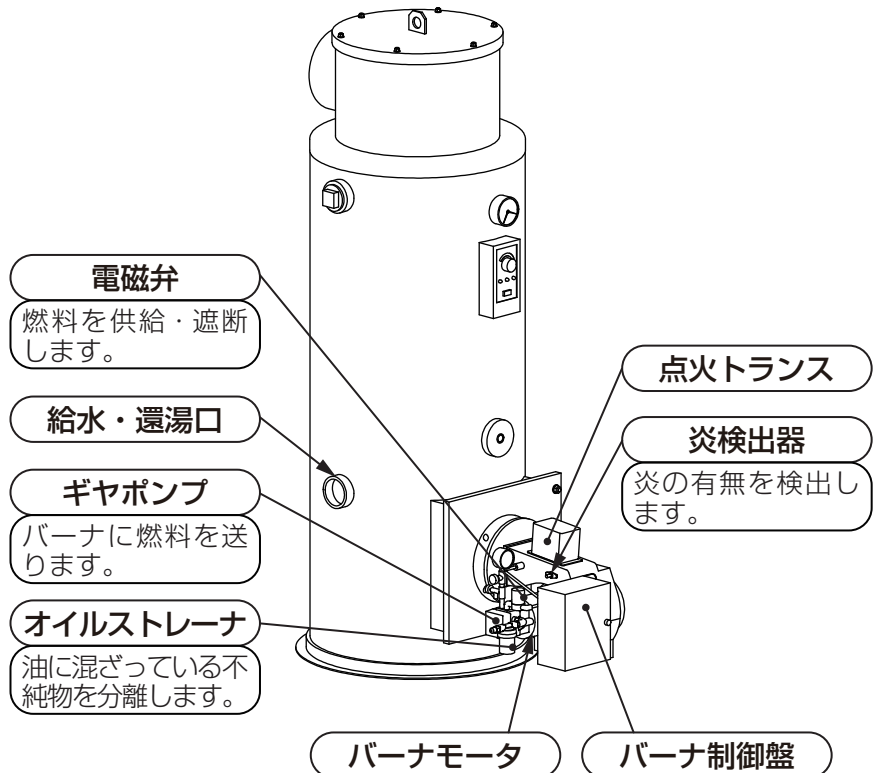
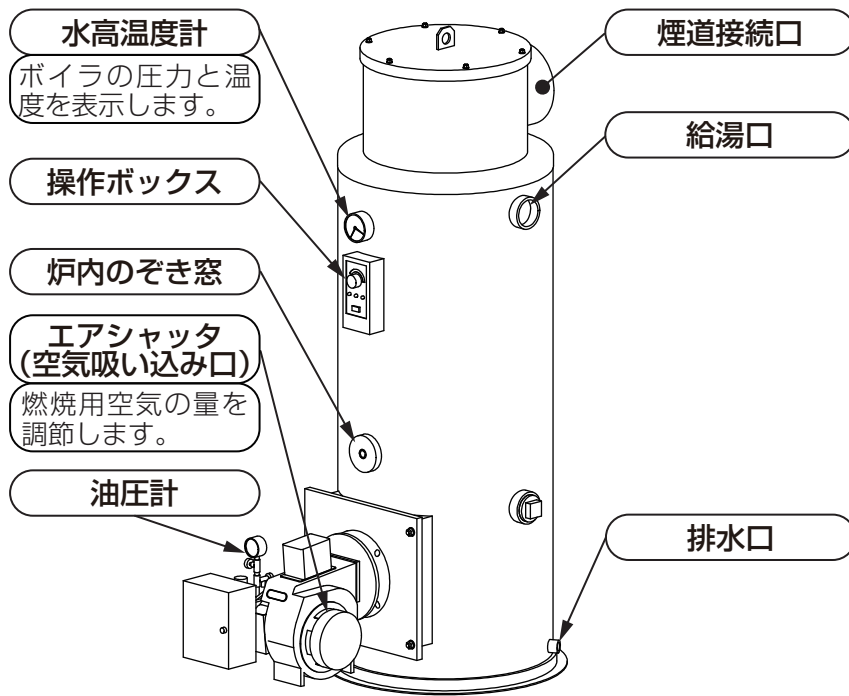


# 3

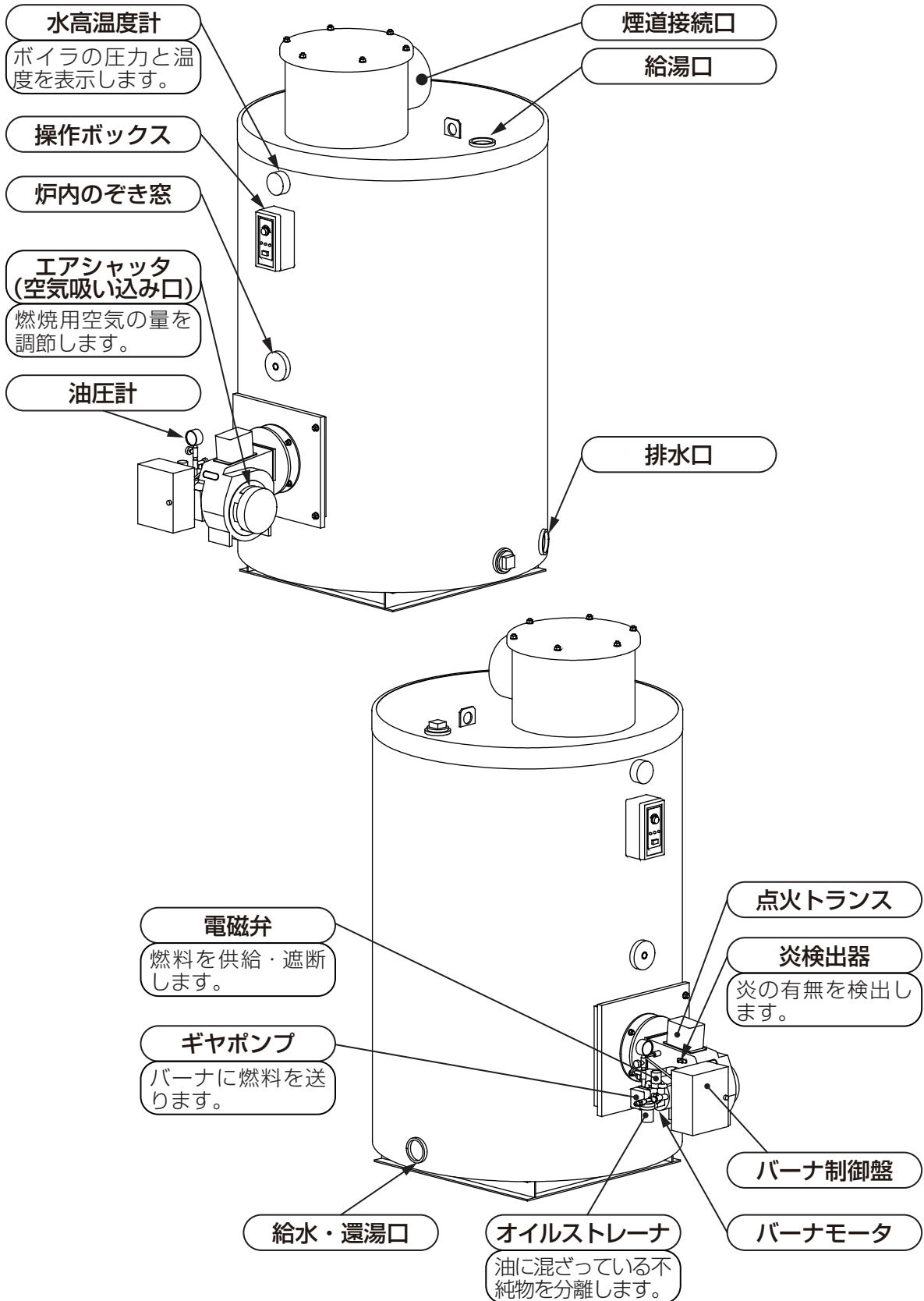
## 各部のなまえとはたらき

### 3-1 外観図

#### AWHシリーズ

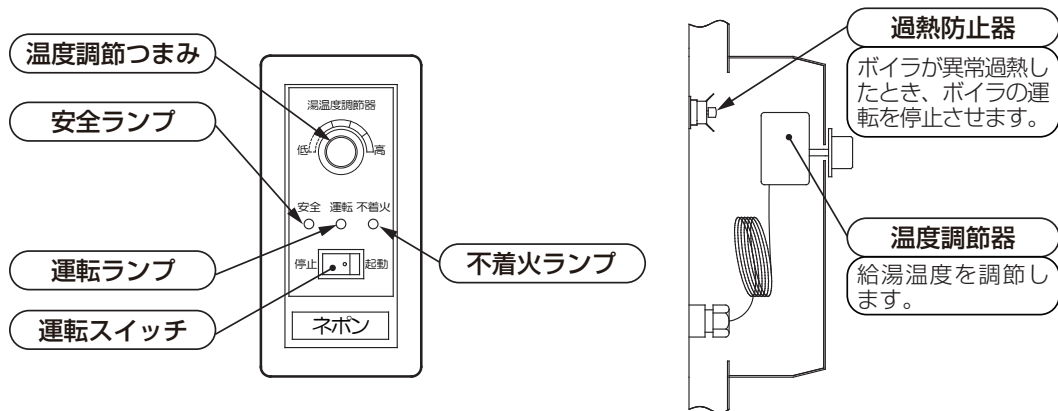


AWSシリーズ



### 3-2 制御部

#### 操作ボックス

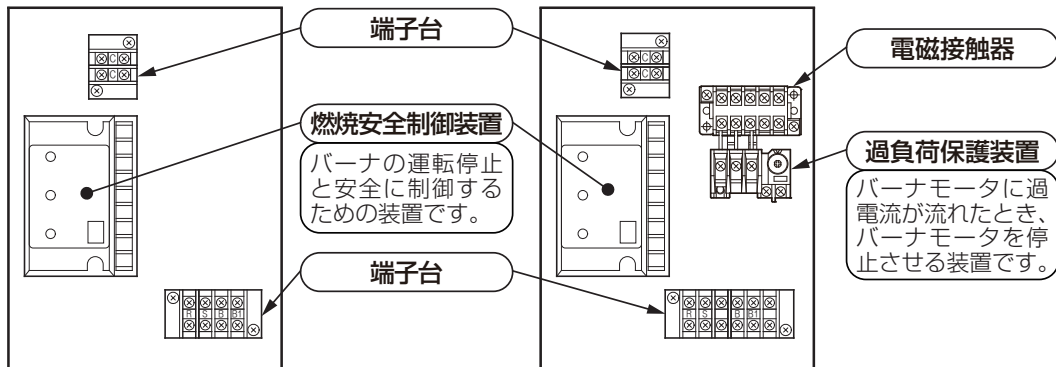


操作ボックス断面

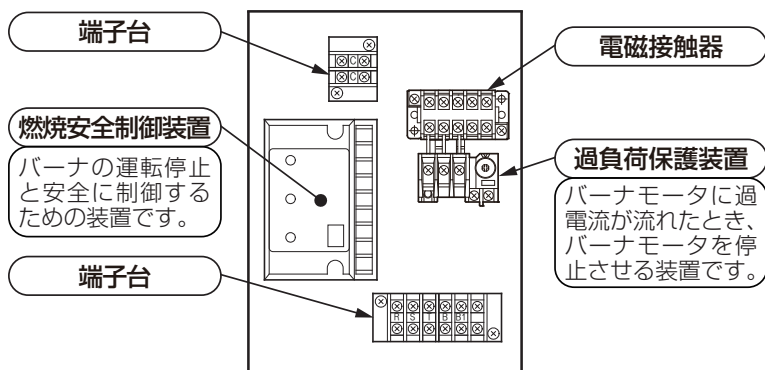
#### バーナ制御盤(100V)

●AWH/S-501SA ~ 901SA

●AWH/S-1001SA ~ 1501SA




#### バーナ制御盤(200V)

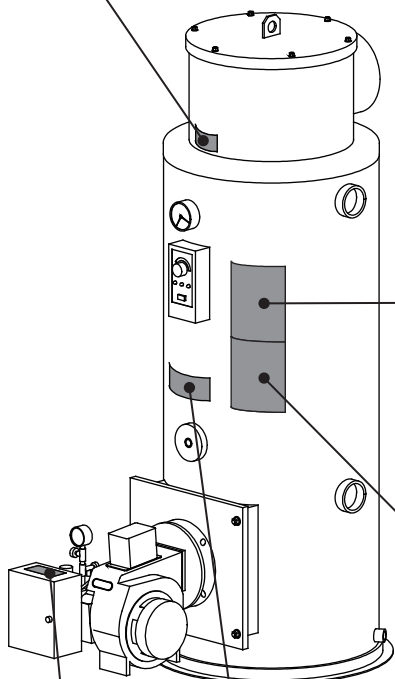


### 3-3 銘板

#### 警告、注意銘板

安全に関する重要な内容について  
貼り付けています  
安全注意ラベル

 接触禁止	<b>注意</b>
	やけどのおそれあり 燃焼中や燃焼停止直後は 排気口付近に手をふれな いこと。



#### 主銘板

製品の型式、製造番号などを  
記載しています  
→ 7 ページ「2. 製品型式記  
号と意味」参照

#### バーナ銘板

燃料に関する重要な内容について  
貼り付けています





#### 警告、注意銘板

安全に関する重要な内容について貼り付けて  
います

取扱注意ラベル

取扱注意	
<p><b>危険</b></p> <p> 火気厳禁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一ガス漏れの場合は、ガス元栓を閉めること。処置が終わるまでの間、絶対に火を使用したり電気器具のスイッチを「入」「切」しないこと。(ガス炎の場合) 爆発、火災のおそれがあります。お買い上げの販売店またはガス業者に連絡してください。</li> <li>● ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないこと。(油焚の場合) 火災のおそれがあります。</li> </ul> <p><b>警告</b></p> <p> よく読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この製品を安全に正しく使用していただくためにお使いになる前に付属の「取扱説明書」をよく読んで、十分理解してください。</li> <li>● バーナ銘板に記載された燃料以外は、使用しないこと。火災や故障のおそれがあります。</li> </ul> <p> 指定燃料以外 使用禁止</p> <p> 給・排気確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転するとき、室内の給気・排気をし、十分換気を行うこと。(屋内設置の場合) 換気が不十分な場合、室内が酸素不足となり、不完全燃焼を起こします。</li> </ul>	<p><b>お客様にお願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一異常を感じたとき 万一異常を感じたり、緊急の場合は、あわてずに運転を停止し、配電盤の元電源を切り、ガス炎の場合はガス元栓を閉め、油焚の場合は送油バルブを閉めてください。</li> <li>● 凍結の注意 凍結のおそれがある場合、取扱説明書にしたがって「凍結防止」を行ってください。</li> </ul> <p><b>運転および停止のしかた</b></p> <p>運転前に取扱説明書にしたがって、「使用前の準備と確認」をしてください。</p> <p><b>運転</b></p> <p>操作ボックスの運転スイッチを入れてください。運転ランプが点灯し、運転を開始します。</p> <p><b>停止</b></p> <p>操作ボックスの運転スイッチを切ってください。運転ランプが消灯し、運転を停止します。</p>

安全注意ラベル

保守点検	
安全で良好な運転を保つために、付属の「取扱説明書」をよく読んで点検時の注意を守り、点検することをお願いします。	
<p><b>点検時の注意</b></p> <p><b>警告</b></p> <p> 燃料漏れ 確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃料配管から燃料が漏れていないか確認すること。火災のおそれがあります。</li> </ul> <p> 給気口確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 給気口の付近に物を置いたり積雪などで閉そくされていないか確認すること。閉そくしていると、換気が十分に行えず室内が酸素不足となり、不完全燃焼を起こします。</li> </ul> <p> 煙道・煙突 確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 煙道・煙突が正しく接続され、つまったり閉そくしていないか確認すること。外れたり閉そくしていると、運転中に燃焼排ガスが室内にのまれてガス中毒を起こすおそれがあります。</li> </ul> <p><b>注意</b></p> <p> 電源OFF</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必ず配電盤の元電源を切ってから行うこと。感電のおそれがあります。</li> </ul>	<p><b>日常点検</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 周囲の清掃および可燃物を置いていないか確認。</li> <li>● 機器・配管から水が漏れていないか確認。</li> <li>● アース線が外れていないか確認。</li> <li>● 異臭・異音がしていないか確認。(運転中)</li> </ul> <p><b>月に1～2回の点検</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 油タンクの水抜き。</li> <li>● 煙突から黒い煙が出ていないか確認。(運転中)</li> </ul> <p><b>6ヶ月に1～2回の点検</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オイルストレーナの清掃。(油焚)</li> </ul> <p><b>定期点検</b></p> <p>安全で良好な運転を保つために、定期点検を6ヶ月および1年に1度、必ず行ってください。なお、定期点検は専門技術が必要となりますので、お買い上げの販売店またはサービス店に依頼してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーナ各部位の点検・調整</li> <li>・6ヶ月に1度</li> <li>・バーナの燃焼調整</li> <li>・6ヶ月に1度</li> <li>・缶体内部の清掃</li> <li>・1年に1度</li> </ul> <p>連絡先</p>

# 4

## 使用前の準備

燃料  
給油

### 4-1 燃料



#### 危険

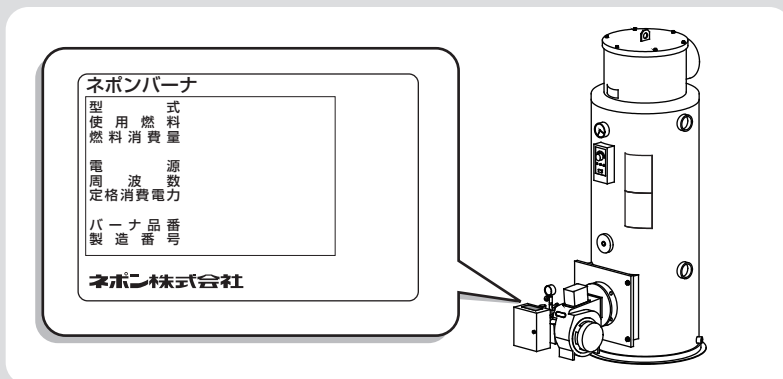
- ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。爆発や火災のおそれがあります。



#### 警告

- 燃料はバーナ銘板に記載された燃料以外は使用しないでください。火災や故障のおそれがあります。

- 灯油だきの場合：JIS1号灯油 を使用してください。
- A重油だきの場合：市販のA重油



お願い

- 市販のA重油は、夏季用と冬季用で性状が異なります。夏季用のA重油は冬季では使用しないでください。

### 4-2 給油

■ 給油をするときは、以下のことに注意してください。

#### ① オイルタンクへの給油

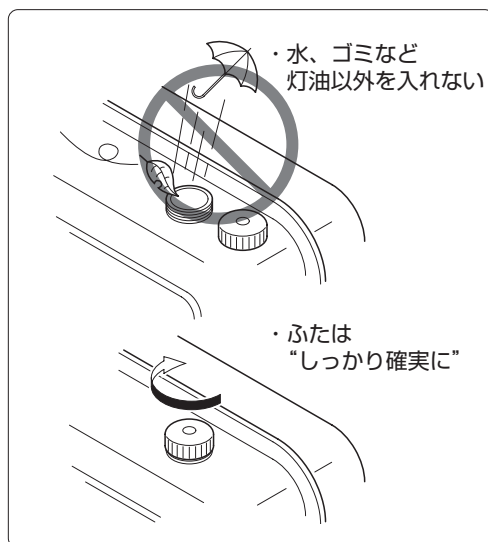
給油のとき、水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。

水、ゴミなどは、燃焼不良や機器の寿命低下などの原因になります。

#### ② 油をこぼさない

もしもこぼれたときは、乾いた布でよくふきとってください。

#### ③ 給油口ふたは確実に閉める



取扱編



## 注意

- 機器の周辺に可燃物を近づけないでください  
火災のおそれがあります。
- 機器の周辺に危険物を近づけないでください  
爆発のおそれがあります。

## 5-1 給水の確認

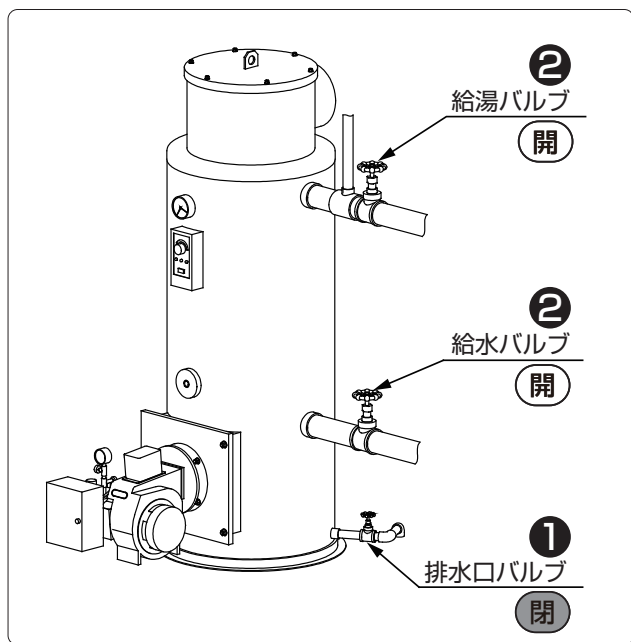


## 注意

- 水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用してください  
事故や水漏れのおそれがあります。

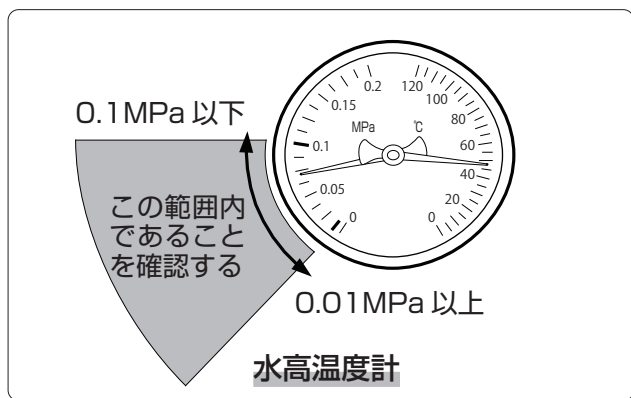
■ 以下の手順で缶体に水が入っていることを確認してください。

- ① 本体の排水口バルブが閉じている
- ② 給水側、給湯側のバルブが開いている
- ③ 給湯栓から水が出る
- ④ 水高温度計のゲージ圧が、0.01 MPa以上、0.1MPa以下である



## 5-2 ゲージ圧の確認

■ 水高温度計のゲージ圧が、0.01MP a以上、0.1MP a以下であることを確認してください



### 5-3 水漏れの確認

■機器や配管から水漏れがないか確認してください。

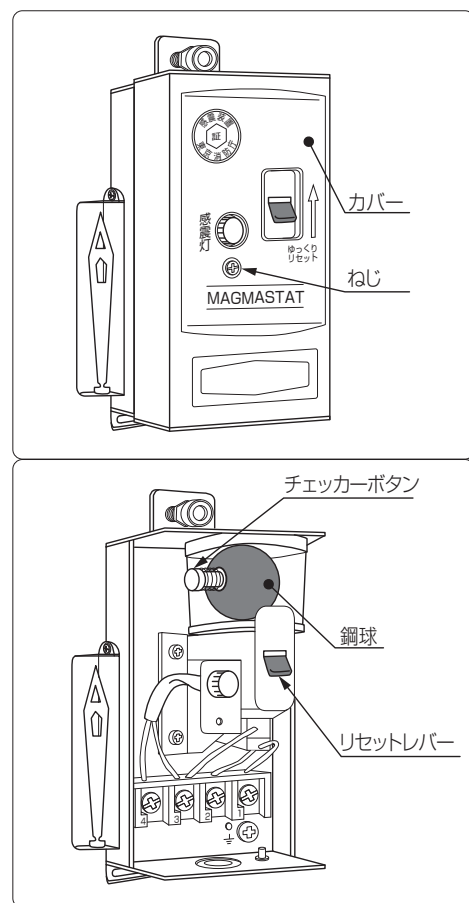
### 5-4 地震感知器の確認

**お知らせ** ●地震感知器はオプション品（別売品）です。ご購入、取り付けに関しては、お買い上げの販売店または、お近くのネボン営業所へお問い合わせください。

■地震感知器は出荷時、輸送中の保護のため、中の鋼球がチェッカーボタンで固定されています。

■以下の手順で地震感知器を確認してください。

- ① **カバーを外す**  
カバーを固定しているねじを緩めて、地震感知器のカバー（赤色）を外してください。
- ② **チェッカーボタンを回す**  
チェッカーボタンを反時計回りに270°回転させ、鋼球を動かします。
- ③ **リセットレバーを上げる**  
リセットレバーをゆっくり上に上げて、鋼球を中央に静止させます。
- ④ **カバーを元に戻す**  
カバーを元の位置にはめ、①で外したねじで固定してください。





## 5-5 オイルタンクおよび油配管の確認



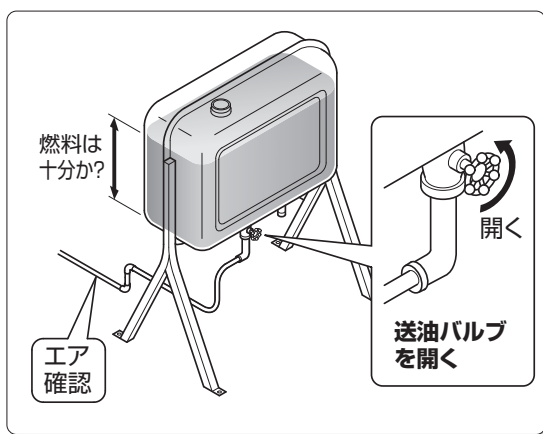
### 注意

- 油漏れがないことを確認してください  
火災や公害の原因となります。
- 油漏れがある場合は機器の使用を中止し、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください  
火災のおそれがあります。

■ オイルタンク、油配管から油漏れがないか確認してください。

### オイルタンクの確認

- ① 水抜きバルブが閉じていることを確認する
- ② オイルタンクに燃料が十分に入っているか確認する  
燃焼がなくなると不着火になります。  
オイルタンクの1/3くらいまで減少したら、給油してください。
- ③ オイルタンクの送油バルブを開く

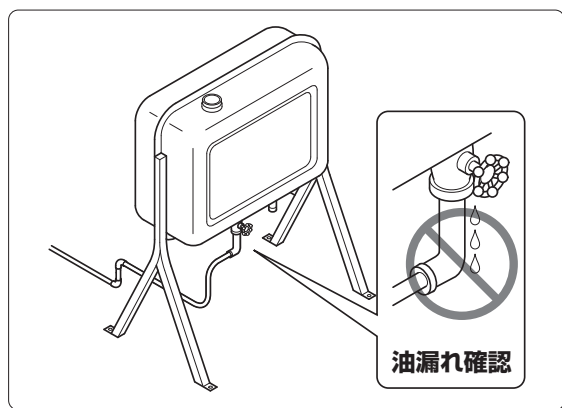


### お願い

- オイルタンクを空にしないように注意してください。空のまま運転をすると、油配管中のエア抜きが必要となります。  
→17 ページ「5-8 エア抜き」参照

### 油配管の確認

- ① 油配管の変形や破損、接合部の外れがないか確認する
- ② 送油バルブを開く
- ③ 油配管中に、油漏れがないことを確認する



## 5-6 煙道・煙突・給排気口の確認



## 警告

- 煙道・煙突および煙突トップが外れたままで使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
- 煙道・煙突がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
- 給気口付近に物を置いたり、雪などでふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは取り除いてください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
- 機器や排気口を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。

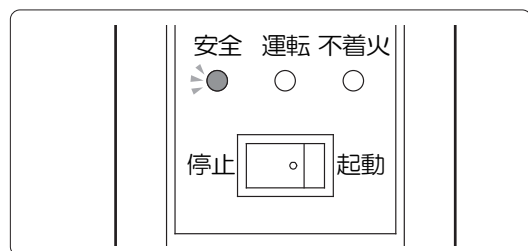
## 5-7 電源の確認



## 注意

- 電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。火災や感電のおそれがあります。
- ぬれた手で、スイッチなどを操作しないでください。感電のおそれがあります。

■ 配電盤の電源を入れ、操作ボックスの「安全ランプ」が点灯していることを確認してください。



お願い

- 安全ランプが消灯している場合は、➡27 ページ「10. 故障・異常の見分けかたと処置方法」参照

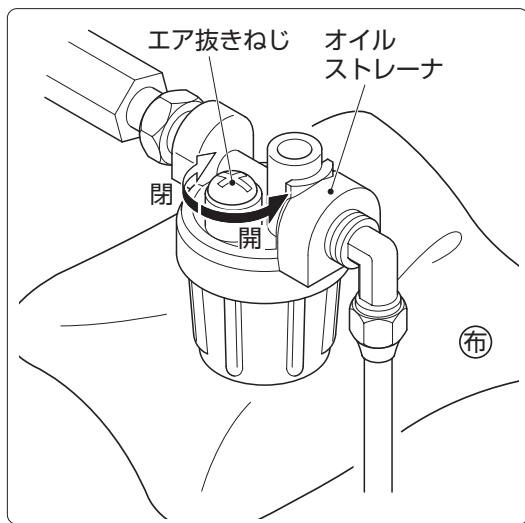
## 5-8 エア抜き

■試運転のときや、オイルタンクを空にしたときは、オイルストレーナおよびギヤポンプのエア抜きが必要です。以下の手順でエア抜きをしてください。

### オイルストレーナのエア抜き

- ① 送油バルブを開く  
オイルタンクに給油し、送油バルブを開いてください。
- ② エア抜きをする  
布などをオイルストレーナの下に当て、エア抜きねじをドライバーで緩めてください。
- ③ エア抜きねじをしめる  
空気が抜け、油が出てきたら、エア抜きねじをしっかり締めてください。

こぼれた油はよくふきとってください。

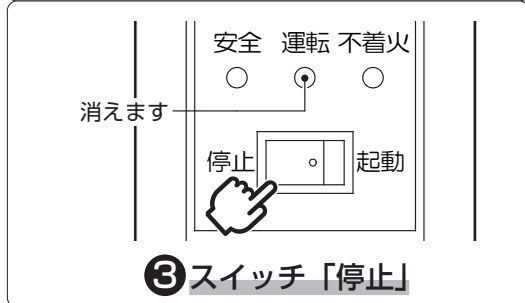
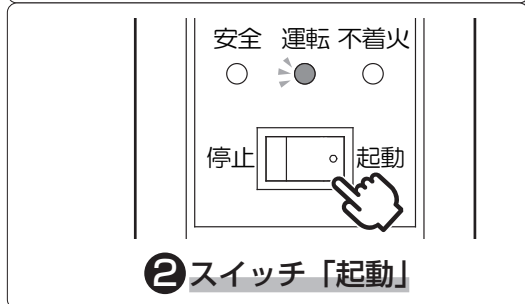
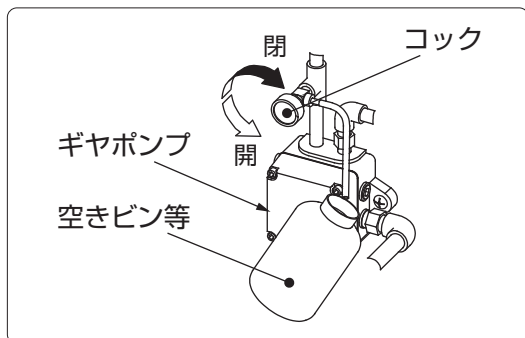


### ギヤポンプのエア抜き

- ① コックを緩める  
ギヤポンプのエア抜きバルブについているチューブの先端を、ビンなどに入れてコックを緩めてください。
- ② 運転スイッチを「起動」にする  
運転スイッチを入れ、バーナを運転させてください。  
◎運転ランプが点灯します。
- ③ 運転スイッチを「停止」にする  
運転し始めて約10秒たったら、運転スイッチを切ってください。  
◎運転ランプが消灯します。
- ④ ②～③の操作を繰り返す  
完全にエアが抜けて油が連続して出てくるまで、②～③を繰り返してください。

お願い

- バーナを連続して運転させると、バーナが着火動作に入り、不着火となることがあります。この場合は、➡21 ページ「7. 安全装置」参照



# 6

## 使用方法



### 警告

- 運転するとき室内の給気・排気をし、十分換気をしてください  
換気が不十分な場合、室内が酸素不足となり不完全燃焼を起こすおそれがあります。
- 衣類などの乾燥には使用しないでください  
衣類が落下して火がつき、火災のおそれがあります。



### 注意

- 燃焼中や消火直後は、高温部（バーナの周辺や煙道・煙突）に手など触れないでください  
やけどのおそれがあります。
- 給湯栓を開いた直後は、熱いお湯が出ることもあるので、お湯に手や顔をつけないでください  
やけどのおそれがあります。
- めれた手で、スイッチなどを操作しないでください  
感電のおそれがあります。
- 機器本体や燃料配管などに乗らないでください  
けがや機器の変形による故障のおそれがあります。
- 地震・雷が発生したときは、速やかに運転を停止し、送油バルブを閉じ、配電盤の元電源を切ってください  
火災や異常動作をおこすおそれがあります。
- 運転中は、点火トランスやそのリード線には触れないでください  
感電のおそれがあります。
- 飲料用として使用しないでください  
ひふ障害や、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。
- バーナの空気吸い込み口やモーターなどの回転部には手を触れないでください  
けがのおそれがあります。

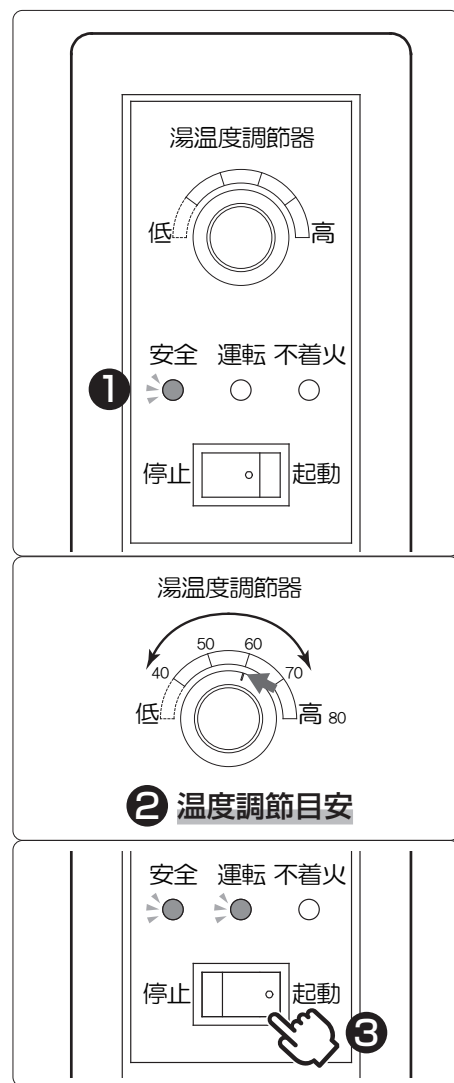
## 6-1 運転

■操作ボックスで操作します。  
以下の手順で運転を開始してください。

- ① 安全ランプが点灯していることを確認する
- ② 温度調節つまみを回し、温度を調節する  
◎設定温度の目安は、右図のとおりです。

お願い

- 温度調節器設定を50℃未満にしないでください。  
50℃より低い温度で使用すると、結露水により缶体の寿命が短くなる場合があります。
- 温度調節器設定を50℃未満で使用する場合は、バイパス配管を設ける必要がありますので、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。  
➔35 ページ「13-3 バイパス配管の取り付け」参照

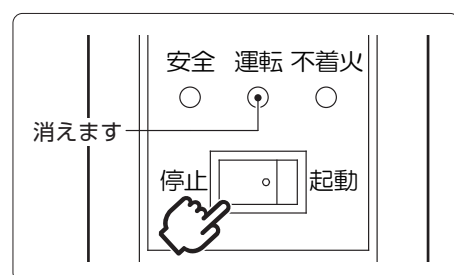


- ③ 運転スイッチを「起動」にする  
◎運転ランプが点灯し、バーナが起動します。  
◎設定温度に応じて、バーナは自動運転されます。

## 6-2 停止

■操作ボックスで操作します。  
以下の手順で運転を開始してください。

- ① 運転スイッチを「停止」にする  
◎運転ランプが消灯します。  
◎バーナが停止します。



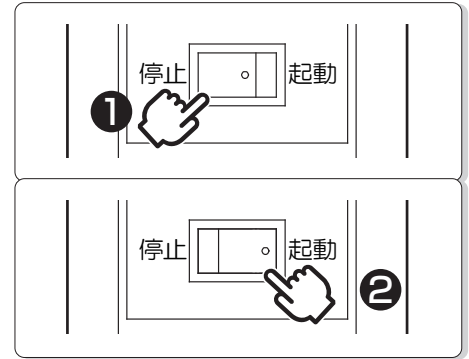
### 6-3 停電発生時の処置

#### ① 運転を中止する

- 運転スイッチを「停止」にします。
- 再通電するまで使用を中止してください。

#### ② 再通電後、運転を再開する

- 機器各部の安全を確認してください。
- 再通電後は、運転スイッチを「起動」にしてください。



#### お願い

- 停電などで運転を停止したときは、運転前に必ず機器内と水道配管が凍結していないことを確認してください。

### 6-4 凍結予防について

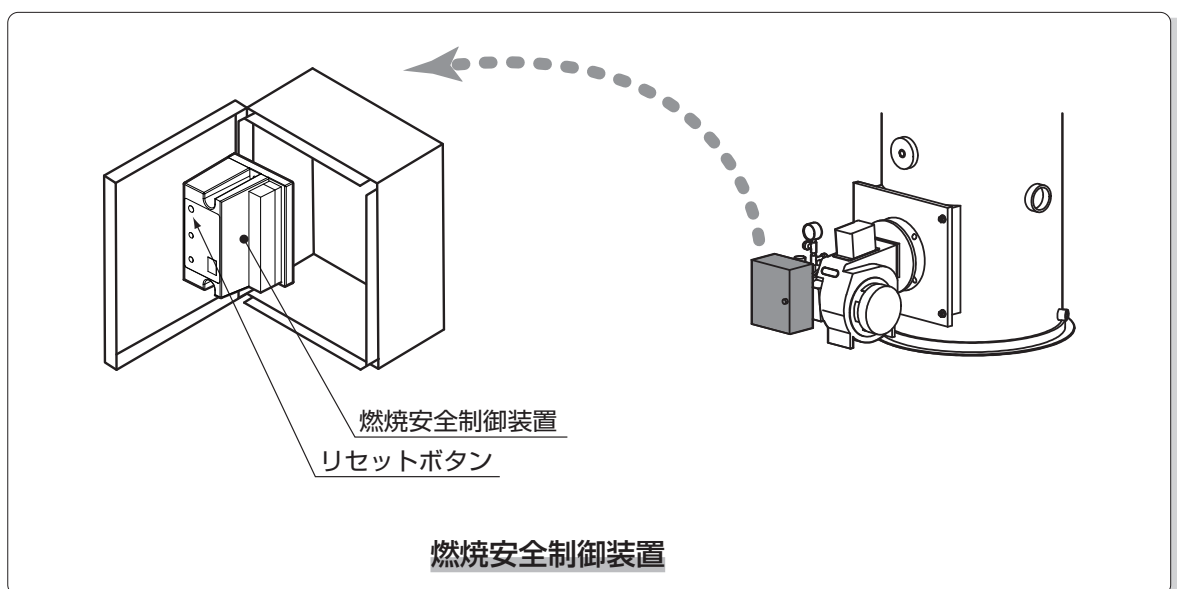
- 冬季は暖かい地域でも、給水・給湯配管、暖房配管、機器内の水が凍結し、機器が破損することがあります。  
必ず凍結予防を行ってください。➡25 ページ「9-1 凍結予防のしかた」参照

# 安全装置

■この機器は以下のような安全装置を搭載しています。異常が発生したときに作動して、運転を停止させたり、異常内容をお知らせします。

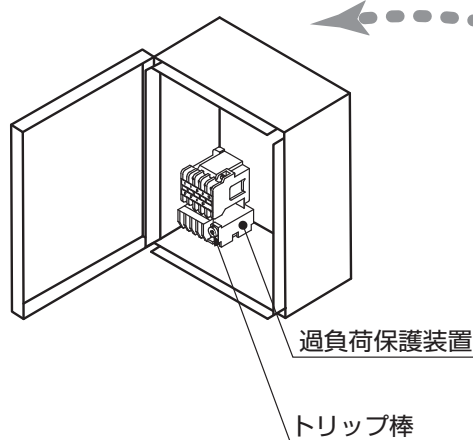
■異常の原因や処置については→27 ページ「10. 故障・異常の見分けかたと処置方法」をご覧ください。

装置名	ランプ表示	原因	対処方法
燃烧安全制御装置  ・バーナが着火に失敗したとき(不着火)や、 燃烧中に火が消えてしまったとき(途中失火) に作動	不着火ランプ 点灯	油切れ	・オイルタンクに油を入れてください。 ➔12 ページ「4-2 給油」の手順で行ってください。
		送油バルブが閉じている	・送油バルブを開いてください。
		油配管に空気が入っている	・油配管のエア抜きをしてください。 ➔17 ページ「5-8 エア抜き」の手順で行ってください。
		その他	・燃烧安全制御装置のリセットボタンを押してください。(下図参照) ・リセットしても再度作動するときは、運転を停止して、お買い上げの販売店または、お近くのネボン営業所にご連絡ください。



# 7 安全装置

装置名	ランプ表示	原因	対処方法
過熱防止装置 ・ 缶体の水が沸騰するのを防止するため、缶体の水温が異常に上昇したときに作動	安全ランプ 消灯	温度調節器の故障	・ 運転を停止して、お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください。
地震感知器（オプション品） ・ 地震が発生したときに作動	安全ランプ 消灯	震度5以上の地震が発生した ..... 地震感知器が強い衝撃を受けた	・ 地震感知器をリセットしてください。機器および周囲の安全を確認した後、 <b>➡14 ページ「5-4 地震感知器の確認」</b> の手順で行ってください。
過負荷保護装置 ・ モータの焼損を防止するため、モータに過電流がある時間以上流れると作動	バーナモータ 停止	モータに異常な負荷がかかった	・ 過負荷保護装置のトリップ棒を押してバーナを再起動させてください。（下図参照） ・ リセットしても再度作動するときは、運転を停止して、お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください。



AWH / S- 501 A ~ 2001 A  
-1001SA ~ 1501SA

過負荷保護装置

お願い

- 安全装置を短絡して運転しないでください。
- 必ず適切な処置を行い、それでも異常のあるときは、お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください。





## 警告

- 煙道・煙突が正しく接続されているか確認してください  
運転中に排ガスが屋内に漏れて危険です。
- 煙道・煙突がつまったりふさがれていないか確認してください  
運転中に排ガスが屋内に漏れて危険です。
- 給気口付近に物を置いたり、雪などでふさがれたままで使用しないでください  
ふさがれているときは取り除いてください。  
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



## 注意

- 油漏れがないことを確認してください  
火災や公害のおそれがあります
- 日常の点検やお手入れは必ず行ってください  
機器が故障するおそれがあります。
- 点検やお手入れのときは、機器を停止させ、送油バルブを閉じ、配電盤の元電源を切ってください  
けがや感電のおそれがあります。
- 屋外設置において、雨天時に点検やお手入れを行う場合、本体内部機器に雨水がかからないようにしてください  
感電のおそれがあります。
- 機器の水抜きは、機器が冷えてから行ってください  
やけどのおそれがあります。

## 8-1 毎日の点検・お手入れ

- ① 周囲の可燃物・危険物・ほこり
  - ◎ 機器、排気口およびオイルタンクの周囲に燃えやすいものがないか確認してください。
  - ◎ 機器は常に清掃し、ほこりなどはきれいにふきとってください。
- ② 油（漏れ・たまり・にじみ）
  - ◎ 機器、送油経路、オイルタンクなどから油漏れ、たまり、にじみなどがいないか確認してください。
- ③ オイルタンク
  - ◎ オイルタンクに油が1/3以上入っているか確認してください。
  - ◎ オイルタンクの送油バルブが開いているか確認してください。
- ④ 水漏れ
  - ◎ 機器、配管などから水漏れがないか確認してください。
- ⑤ アース
  - ◎ アースが確実に取り付けられていることを確認してください。
- ⑥ ゲージ圧
  - ◎ 水高温度計のゲージ圧が、0.01MPa以上、0.1MPa以下であることを確認してください。
- ⑦ 異臭・異音（点検は運転中に行ってください）
  - ◎ こげ臭い、異常な音がするなどの異常がないか確認してください。

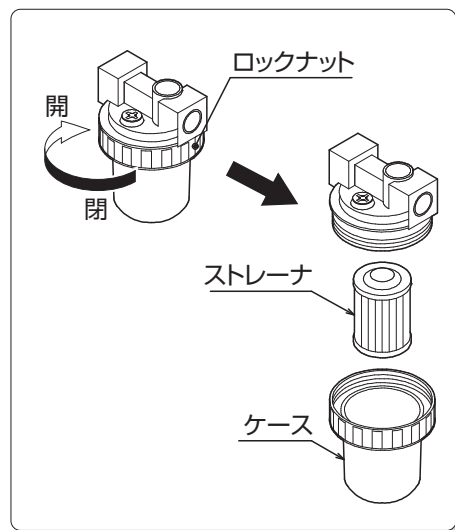
## 8-2 月に1〜2回の点検・お手入れ

- ① オイルタンクの水抜き  
○オイルタンクの水抜き栓から水を抜いてください。
- ② 発煙（点検は運転中に行ってください）  
○煙突トップから黒い煙が出ていないか確認してください。
- ③ 缶体底部にたまった異物などの除去  
○給湯用にお使いの場合は、排水口のバルブを開いて1分間ほど水抜きをしてください。

## 8-3 6か月に1〜2回の点検・お手入れ

### オイルストレーナの掃除

- ① 送油バルブを閉じる  
○オイルタンクの送油バルブを閉じてください。
- ② ストレーナとケースを外す  
○オイルストレーナのケースを左に回して、ストレーナとケースを外してください。
- ③ ケース内とストレーナを灯油で洗う
- ④ 逆の手順で取り付ける  
○掃除が終わったら、逆の手順で取り付けてください。
- ⑤ 油漏れがないか確認する  
○オイルタンクの送油バルブを開け、オイルストレーナから油漏れがないことを確認してください。



### お願い

- 6か月に一回の「定期点検」をおすすめします。  
➔ 40ページ「定期点検・お客様登録」参照



## 注意

- 機器の水抜きをするときは、機器が冷えてから行ってくださいやけどのおそれがあります。
- 凍結予防を必ず行ってください機器破損のおそれがあります。

## 9-1 凍結予防のしかた

- 冬季は暖かい地域でも、給水・給湯配管、暖房配管、機器内の水が凍結し、機器が破損することがあります。  
以下の方法で凍結予防をしてください。

### 低温度運転による方法

#### ① 安全ランプの点灯を確認する

- ◎ 操作ボックスの安全ランプが点灯していることを確認してください。
- ◎ 消灯しているときは、配電盤の元電源を入れてください。

#### ② 温度調節をする

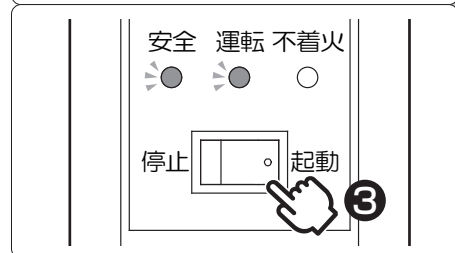
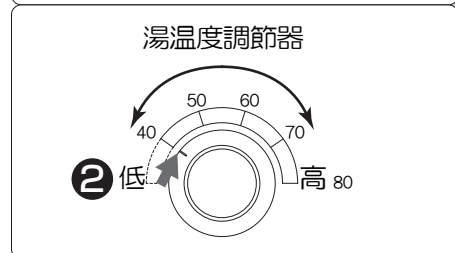
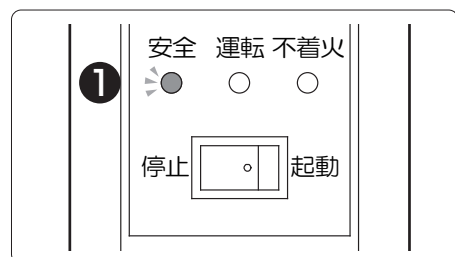
- ◎ 温度調節つまみを回して「低」にしてください。

#### ③ 運転スイッチを「起動」にする

- ◎ 運転ランプが点灯し、バーナが起動します。
- ◎ 給湯温度を約40℃に保つようにバーナが運転します。

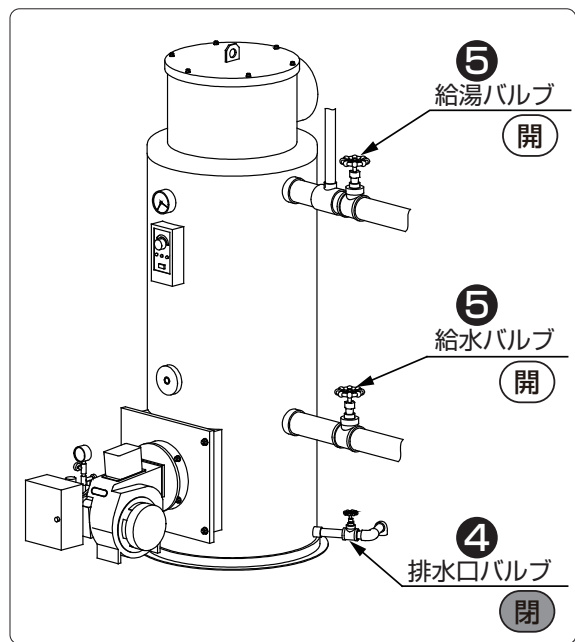
### お願い

- 低温度運転は、夜間から朝までの凍結予防の場合に行ってください。長期にわたり行いますと、結露水により缶体の寿命が短くなることがあります。



## 水抜きによる方法

- ① オイルタンクの送油バルブを閉める
- ② 配電盤の元電源を切る
- ③ 給水元栓を閉める
- ④ 排水口バルブを開く  
○ 缶体内の水抜きをしてください。
- ⑤ 給水バルブ、給湯バルブを開く  
○ 配管内の水抜きをしてください。
- ⑥ 再度使用するときは  
➔ 12 ページ「4. 使用前の準備」  
➔ 13 ページ「5. 運転前の確認」  
の手順で行ってください。



## お願い

- 必ずお買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所に依頼して、機器外の配管にも凍結予防処置をしてください。
- 停電などで運転を停止したときは、運転前に必ず機器内と水道配管が凍結していないことを確認してください。
- 万一凍結したときは、水漏れや機器破損の原因になりますので溶けるまで待つか、凍結した部分にぬるま湯をかけて溶かし終えた後、給湯栓から水が出ることを確認してから運転してください。
- 使用しない期間が夏季で凍結のおそれがない場合は、缶体をさびから守るためにも、水抜きはしないでください。
- 作業についてご不明な点は、お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にお問い合わせください。

# 故障・異常の見分けかたと処置方法



## 警告

- 異常（異音・異臭）を感じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください  
異常のまま使用すると感電や火災のおそれがあります。

■ 修理を依頼される前に、一度確認してください。  
原因が分からないときや、故障が確認されたときは、必ずお買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にお問い合わせください。

状 況	ランプ表示	原 因	処置方法
安全ランプが消えている	安全ランプ消灯	配電盤の元電源が消えている	配電盤の元電源を入れる
		停電している	通電されるまで使用を中止する →20 ページ「6-3 停電発生時の処置」参照
		地震感知器が作動している	→22 ページ「7. 安全装置 地震感知器（オプション品）」参照
		過熱防止器が作動している	→22 ページ「7.安全装置 過熱防止器」参照
		その他	お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください
運転スイッチ「起動」にしても、バーナが起動しない (運転スイッチは「起動」にしているがバーナは停止している)	不着火ランプ点灯	温度調節器の設定が低い	温度調節をする →19 ページ「6-1 運転」参照
		燃焼安全制御装置が作動している	→22 ページ「7.安全装置 燃焼安全制御装置」参照
		過負荷保護装置が作動している	→22 ページ「7.安全装置 過負荷保護装置」参照
		その他	お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください

状 況	ランプ表示	原 因	処置方法
バーナは起動するが、着火せずに不着火ランプが点灯する	不着火ランプ点灯	油が切れている	オイルタンクに油を補給する
		オイルタンクの送油バルブが閉まっている	送油バルブを開く
		油配管内に空気が入っている	➡17 ページ「5-8 エア抜き」参照
		オイルストレーナが詰まっている	➡24 ページ「オイルストレーナの掃除」参照
		油の中に水や不純物が混じっている	オイルタンクの水抜きをする、または良質の油に交換する
その他	お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください		
バーナは着火するが、すぐに失火して不着火ランプが点灯する	不着火ランプ点灯	油配管内に空気が入っている	➡17 ページ「5-8 エア抜き」参照
		オイルストレーナが詰まっている	➡24 ページ「オイルストレーナの掃除」参照
		その他	お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください
バーナは燃焼するが、振動したり、煙やすすが煙突から出る		燃焼空気量の調整不良	お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください
		油圧の調整不良	
		ノズル、ギャボンプの劣化	
		煙道・煙突のつまり、不良	
給排気不足			
バーナは燃焼しているが、給湯温度が上がらない		給水量または循環量が多すぎる	流量を調節する
水高温度計のゲージ圧力の値がいつもと違う		断水	断水が解除されるまで使用を中止してください
		水高温度計の故障	お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご連絡ください

# 部品交換のしかた



## 警告

- オプション品（別売品）もネポン指定品を使用してください  
指定以外の部品を使用すると、事故・故障のおそれがあります。

- 短期間に消耗する部品は特にありませんが、部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にご相談ください。

## 12-1 仕様

### ■給湯・暖房 AWHシリーズ

型式	AWH-501SA	AWH-601SA	AWH-701SA	AWH-801SA	AWH-901SA	AWH-1001SA	AWH-1201SA	AWH-1501SA	AWH-1801A	AWH-2001A		
	AWH-501A	AWH-601A	AWH-701A	AWH-801A	AWH-901A	AWH-1001A	AWH-1201A	AWH-1501A				
種類	簡易ボイラ											
熱出力 (kW)	58.2	69.8	81.4	93	105	116	140	174	209	233		
暖房用	循環量<*1> (L/h)	5000	6000	7000	8000	9000	10000	12000	15000	18000	20000	
	循環抵抗 (Pa)	441	637	882	441	539	686	981	1520	2160	2700	
	暖房可能面積<*2> (m <sup>2</sup> )	291	349	407	465	525	580	700	870	1045	1165	
給湯用	缶水量 (貯湯量) (L)	116			152			256		250		
	給湯量<*3> (L/h)	1000	1200	1400	1600	1800	2000	2400	3000	3600	4000	
	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	1.75			2.55			3.72		3.96		
使用圧力	0.1MPa 以下											
バーナ	電動機 (kW)	0.15					0.25			0.4		
	燃料消費量 <*4> (L/h)	灯油	7	8.6	10.1	11.4	13	14.6	17.3	21.9	26	29.2
		A重油	6.6	8	9.5	10.7	12.2	13.7	16.3	20.6	24.4	27.5
電源電圧・周波数	AC200V3相または100V単相・50/60Hz								AC200V3相・50/60Hz			
消費電力 (kW)	0.22(200V),0.26(100V)					0.34(200V),0.41(100V)			0.52(200V)			
煙道接続口 (mm)	φ173			φ223			φ248		φ298			
標準煙突口径 (mm)	φ175			φ225			φ250		φ300			
燃焼空気量 (m <sup>3</sup> N/h)	100	120	140	160	180	200	240	300	360	400		
給気口・排気口寸法 (mm)	360×360	400×400	435×435	460×460	490×490	520×520	565×565	640×640	695×695	735×735		
製品質量	運搬質量 (kg)	205			265			350		375		
	運転質量 (kg)	321			417			606		625		
安全装置	燃焼安全制御装置・過熱防止装置・対震自動消火装置 (オプション)											
付属品	油配管用銅管継手											

### ■給湯専用貯湯型 AWSシリーズ

型式	AWS-501SA	AWS-601SA	AWS-701SA	AWS-801SA	AWS-901SA	AWS-1001SA	AWS-1201SA	AWS-1501SA	AWS-1801A	AWS-2001A		
	AWS-501A	AWS-601A	AWS-701A	AWS-801A	AWS-901A	AWS-1001A	AWS-1201A	AWS-1501A				
種類	簡易ボイラ											
熱出力 (kW)	58.2	69.8	81.4	93	105	116	140	174	209	233		
給湯用	缶水量 (貯湯量) (L)	600			950			1300		1600		
	給湯量<*3> (L/h)	1000	1200	1400	1600	1800	2000	2400	3000	3600	4000	
	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	1.75			2.55			3.72		3.96		
使用圧力	0.1MPa 以下											
バーナ	電動機 (kW)	0.15					0.25			0.4		
	燃料消費量 <*4> (L/h)	灯油	7	8.6	10.1	11.4	13	14.6	17.3	21.9	26	29.2
		A重油	6.6	8	9.5	10.7	12.2	13.7	16.3	20.6	24.4	27.5
電源電圧・周波数	AC200V3相または100V単相・50/60Hz								AC200V3相・50/60Hz			
消費電力 (kW)	0.22(200V),0.26(100V)					0.34(200V),0.41(100V)			0.52(200V)			
煙道接続口 (mm)	φ173			φ223			φ248		φ298			
標準煙突口径 (mm)	φ175			φ225			φ250		φ300			
燃焼空気量 (m <sup>3</sup> N/h)	100	120	140	160	180	200	240	300	360	400		
給気口・排気口寸法 (mm)	360×360	400×400	435×435	460×460	490×490	520×520	565×565	640×640	695×695	735×735		
製品質量	運搬質量 (kg)	345			455			460		565		
	運転質量 (kg)	945			1405			1410		1865		
安全装置	燃焼安全制御装置・過熱防止装置・対震自動消火装置 (オプション)											
付属品	油配管用銅管継手											

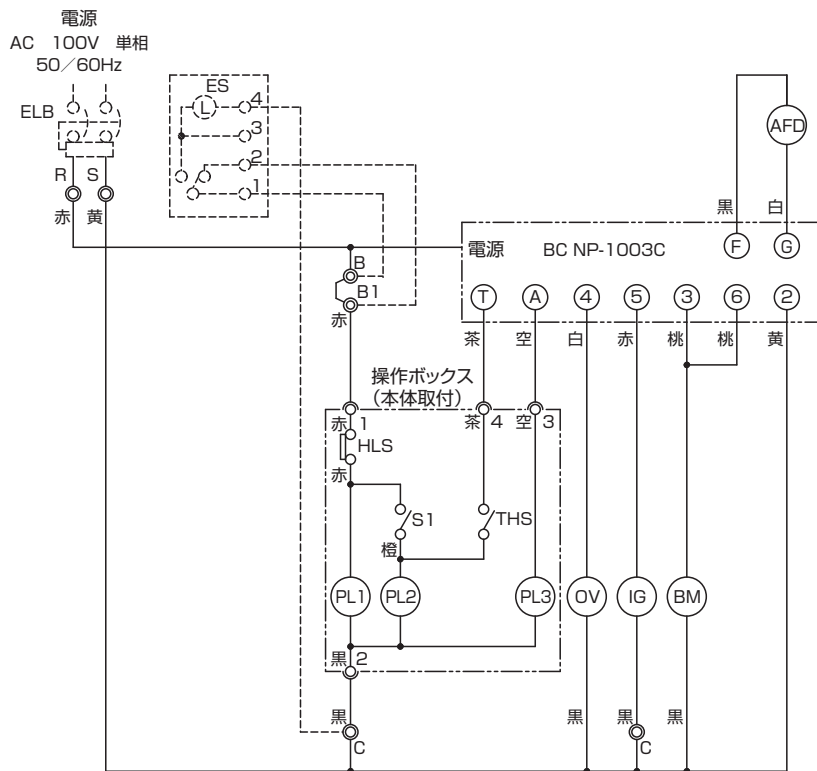
- 注記
1. 型式末尾のSA (AWH-501SA・AWS-501SA等)は、AC100V単相を示します。
  2. 表中<\*1>の流量は、上昇温度10℃の条件で算定しています。
  3. 表中<\*2>は、暖房負荷係数を0.2kW/m<sup>2</sup>で算定しています。
  4. 表中<\*3>の流量は、上昇温度50℃の条件で算定しています。
  5. 表中<\*4>は、下記の基準で算定しています。

	灯油	A重油
低発熱量 (MJ/kg)	46.3	42.7
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	0.8	0.86



# 12-2 配線図

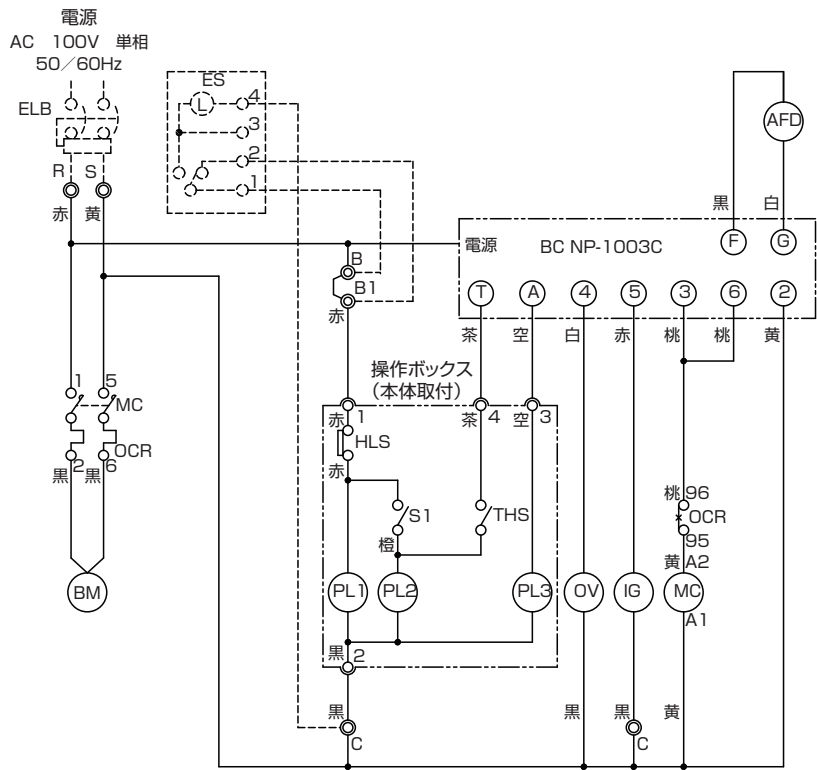
## AWH/S-501SA ~ 901SA



記号	名称
ELB	漏電遮断器
HLS	過熱防止器
S1	運転・停止スイッチ
THS	温度調節器
PL1	安全回路ランプ
PL2	運転ランプ
PL3	不着火ランプ
BC	燃焼安全制御装置
AFD	炎検出器
OV	電磁弁
IG	点火トランス
BM	バーナモータ
ES	地震感知器(オプション)

注記  
地震感知器を使用する場合には、ジャンパ線を取り外し、点線の様に接続してください。

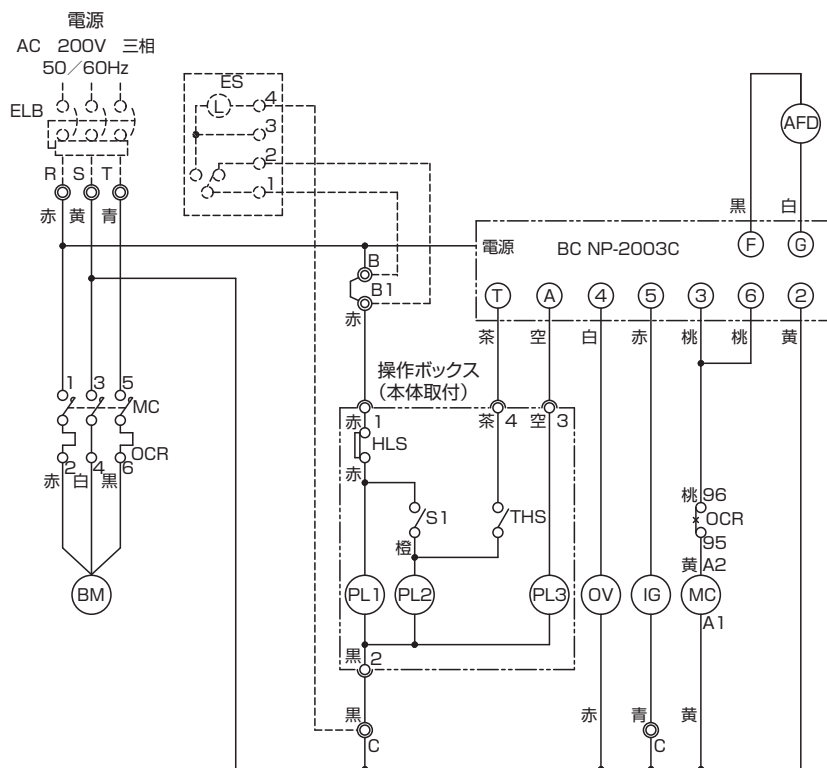
## AWH/S-1001SA ~ 1501SA



記号	名称
ELB	漏電遮断器
HLS	過熱防止器
S1	運転・停止スイッチ
THS	温度調節器
PL1	安全回路ランプ
PL2	運転ランプ
PL3	不着火ランプ
BC	燃焼安全制御装置
AFD	炎検出器
OV	電磁弁
IG	点火トランス
BM	バーナモータ
MC	電磁接触器
OCR	過負荷保護装置
ES	地震感知器(オプション)

注記  
地震感知器を使用する場合には、ジャンパ線を取り外し、点線の様に接続してください。

### AWH/S-501A ~ 2001A



記号	名称
ELB	漏電遮断器
HLS	過熱防止器
S1	運転・停止スイッチ
THS	温度調節器
PL1	安全回路ランプ
PL2	運転ランプ
PL3	不着火ランプ
BC	燃焼安全制御装置
AFD	炎検出器
OV	電磁弁
IG	点火トランス
BM	バーナモータ
MC	電磁接触器
OCR	過負荷保護装置
ES	地震感知器(オプション)

**注記**

地震感知器を使用する場合には、ジャンパ線を取り外し、点線の様に接続してください。

# 据え付け工事の確認



## 警告

- 工事は、お買い上げの販売店または工事業者に依頼してください  
施工不備があると感電や火災のおそれがあります。



## 注意

- 据え付け工事が正しくされているか確認してください  
不備があると漏電や火災のおそれがあります。
- 基礎工事は確実にされているか確認してください  
転倒や火災のおそれがあります。
- 機器は金属以外で不燃性のしっかりとした床面に設置されているか確認ください  
火災や転倒のおそれがあります。
- アース線が確実に接続されているか確認してください  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

## 13-1 据え付け工事の確認

- 据付・配管・電気工事は、関連する法規に従って行われているか確認してください。

### 据え付け場所の選定

- 以下の注意を守り、近隣への騒音防止についても十分配慮し、水道工事や電気工事など付帯工事のできる場所に据え付けてあるか確認してください。



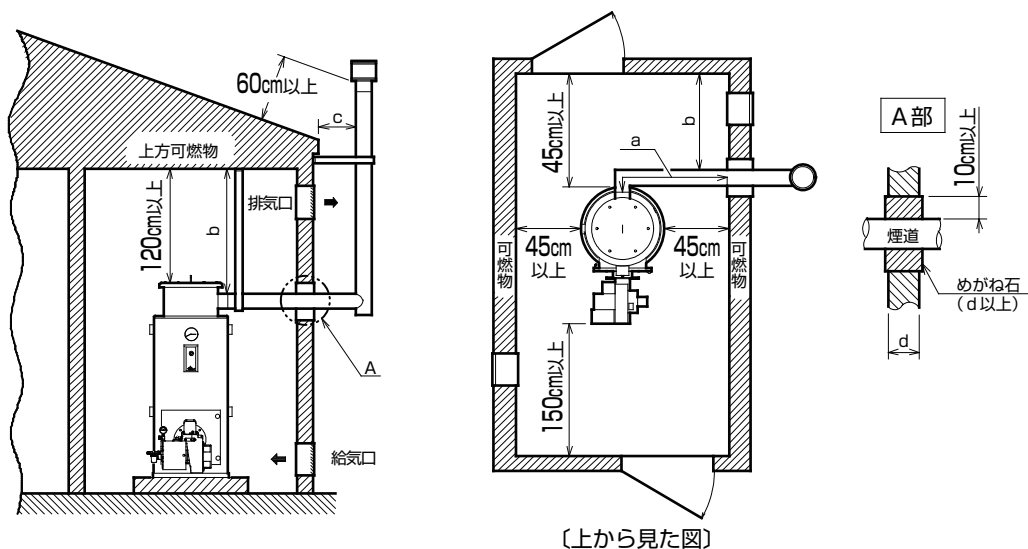
## 注意

- 次の場所には据え付けしないでください
  - 水道配管工事、電気工事などの付帯工事ができない場所
  - 水平でない場所、不安定な場所
  - 不安定な物を乗せた柵などの下
  - 可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
  - 雨水のかかる場所、雪の積もる場所
  - 燃焼に必要な空気を取り入れる空気取り入れ口のない場所、または換気が行えない場所
  - 付近に燃えやすいものがある場所
  - 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
  - 排水のしにくい場所
  - 浴槽と同一室内
  - 換気扇などからの風が、機器の給排気に影響を与える場所
  - 風が強く当たる場所
  - 設置後の保守管理が行えない場所
  - 火災予防上の所定の距離がとれない場所
  - 火災予防条例に従って煙突の取り付けができない場所
  - 火災予防条例に従ってオイルタンクを安全に設置できない場所
  - 騒音公害になる場所
    - ブロック塀などが近くにある場合は、音が反射して大きくなる場合がありますので、隣家から離して設置しているか確認してください。隣家と接近して機器を設置する場合は、遮音工事がされているか確認してください。

## ⚠ 注意

- 可燃物との距離を離してください
- 標準据え付け例

### ■屋内設置【東京都火災予防条例による】

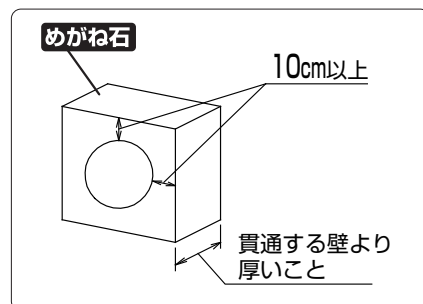


- ・煙突の長さaが、機器から180cm以内の部分では、煙突と可燃物との距離bを45cm以上とすること。
- ・煙突の長さaが、機器から180cmを越える部分では、煙突と可燃物との距離cを15cm以上とすること。

- コンクリート等、金属製以外の不燃材の床上に据え付けてあるか確認してください。(屋内設置機器)

- 家屋貫通部がきちんと工事されているか確認してください。

- 煙道・煙突が可燃性の壁などを貫通する部分は、必ずめがね石を使用してください。
- 小屋裏、天井裏などにある部分は、金属以外の不燃材で防火上有効な被覆をしてください。
- 可燃性の壁、天井、小屋裏、天井裏などを貫通する部分およびその付近では、煙突の接続はしないでください。



- 煙道・煙突がきちんと固定されているか確認してください

- 煙道・煙突は、風や振動などで倒れないよう支え金具や支え線などで固定してください。
- 煙道・煙突は、1.5～2mおきに固定金具で固定し、自重を支える部分は、支えまたはつり金具でしっかりと支持してください。

- 給気口、排気口がそれぞれ設けてあることを確認してください。

- 標高1000mを越えるような高地に設置する場合は、事前にお買い上げの販売店または、工事業者にご相談ください。

- 銅配管が使用されていないか確認してください。

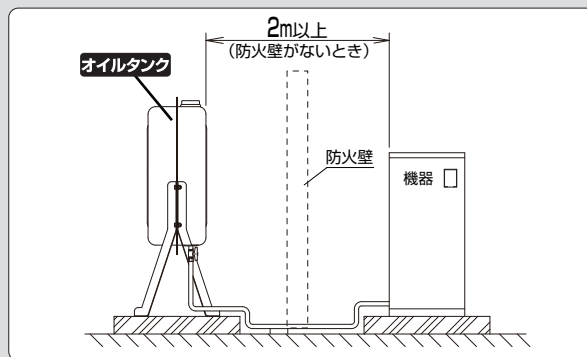
- 銅配管が使われていると、腐食により缶体の寿命が著しく短くなる場合があります。

オイルタンクの据え付け

**!** 注意

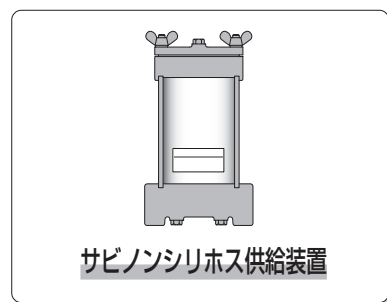
- 適正なオイルタンクを設置してください  
ドラム缶などは使用しないで下さい
- 機器本体とオイルタンクとの距離を  
離してください。  
火災のおそれがあります。

◎ オイルタンクは機器より2m以上  
離すか、防火上有効な遮塀を設  
けてください。



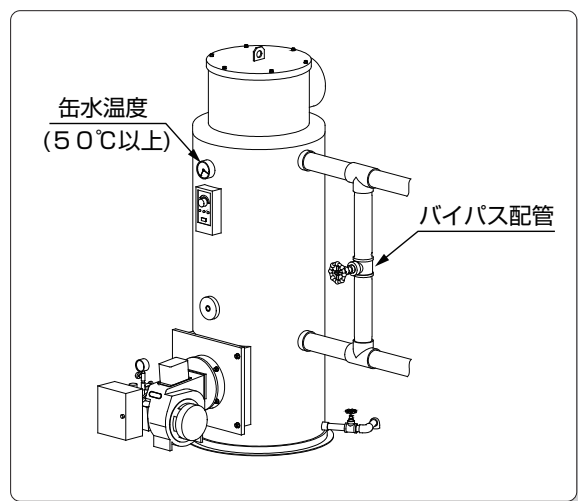
**13-2 防錆剤 (サビノンシリホス) 供給装置の取り付け**

- ◎ この機器を給湯にお使いの場合、水質や配管の材質によつては腐食により赤水・さびが発生し、缶体の寿命が短くなります。  
缶体を腐食から守るため、給湯配管には防錆剤 (サビノンシリホス) 供給装置を組み込み、防錆管理を十分に行ってください。
- ◎ 詳しくは、お買い上げの販売店または、お近くのネポン営業所にお問い合わせください。



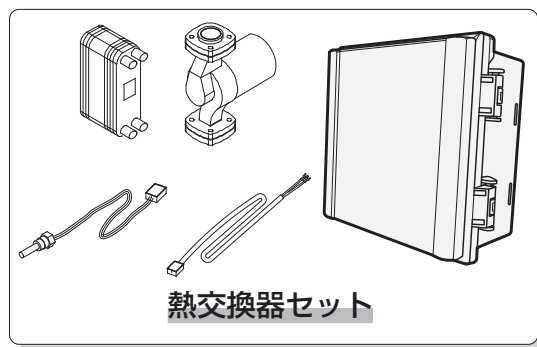
**13-3 バイパス配管の取り付け**

- ◎ 給湯温度を50℃未満でお使いになる場合は、バイパス配管を設けて缶水温度を50℃以上にしてください。  
給湯温度50℃未満で使用しますと、結露水により缶体の寿命が短くなること  
があります。



## 13-4 熱交換器の取り付け

- 給湯用として熱交換器セットをオプションで用意しています。  
水圧が必要な場合は、熱交換器セットをご使用ください。
- この機器をプールや浴槽の昇温にお使いになる場合は、必ず熱交換器を使用して間接加熱を行ってください。  
直接加熱しますと、薬品により缶体の寿命が短くなります。



## 13-5 据え付け工事後の確認

■下記のチェックシートに従って点検をしてください。

点 検 項 目	
■ 設置面の材料および周囲の材料と機器の距離	
1	床面は金属以外の不燃性で、水平・しっかりとした場所である。
2	機器の周囲は不燃材（コンクリート、コンクリートブロック、モルタル、しっくいなど）で仕上げている。
3	火災予防上の所定の距離は、十分である。
4	機器の点検スペースは、十分確保されている。
5	本体のベースに基礎ボルトで固定されている。
■ 煙道・煙突の壁・屋根貫通部および寸法	
5	壁・屋根の貫通部は、めがね石または、めがね鉄板など不燃性材料で断熱している。
6	貫通部の雨じまいは十分している。
7	めがね石または、めがね鉄板周辺の可燃物と煙突とが接触していない。
8	支持金具などで確実に固定している。
■ オイルタンクと機器との距離	
9	オイルタンクは防火上有効な壁がない場合、機器から2m以上離れている。
■ 油配管工事	
10	油配管から油漏れなどの異常がない。
■ 給排気口	
11	屋内設置の場合、給気口・排気口がそれぞれ施工されている。
12	給気口および排気口付近に物などを置いてふさいでいない。

点 検 項 目	
<b>■ 電気配線工事</b>	
13	アース工事は行われている。
14	電源は配電盤から専用回路で配線されている。
15	ケーブルの端子接続部に力が加わらないよう固定している。
<b>■ 水道配管工事</b>	
16	水道直結による給水はしていない。給水タンクなどを使用し、給水している。
17	膨張管が設けられている。
18	銅配管は使用していない。
19	排水管からの湯が確実に外に排水できる。
20	配管から水が漏れていない。
<b>■ 凍結予防</b>	
21	配管に凍結予防のヒータを巻くなどの、凍結予防処理がされている。

**警告**

- 移設する場合は、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所へ依頼してください  
不備があると感電や火災のおそれがあります。

**注意**

- 譲渡のときは取扱説明書を添付してください  
お使いになっている機器を他に売ったり、譲渡するときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を機器の目立つ場所にテープ止めしてください。
- 廃棄は専門業者へ依頼してください  
廃棄する場合は必ず専門業者へ依頼してください。絶対に投棄などはしないでください。

不明のときは、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご相談ください。



**その他**



# 定期点検・お客様登録

## 定期点検について



### 注意

- 定期的に点検・整備を受けてください  
整備不良がありますと、事故のおそれがあります。

### この製品は、定期点検が必要です。

この製品の性能を維持し、お客様が安全にお使いいただくために、定期点検（有料）をお受けください。

定期点検のお申し込み、内容や手続きに関するお問い合わせは、お近くのネポン営業所、またはサービスセンターまでご連絡ください。

また、製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接お申し込みいただけます。必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

### 定期点検のお申し込み・お問い合わせは…

お近くのネポン営業所

または

サービスセンター

### FAXによる定期点検のお申し込みは…

FAX  0120 - 926413

## お客様登録について

ネポン製品をご購入いただいたお客様には、「お客様登録」をお願いしております。

「お客様登録」をしていただきますと、定期点検のご案内や、お使いの製品についての重要なお知らせなどをお届けします。

製品に同封の「お客様登録用紙」に必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてご登録いただくか、ネポンホームページの登録フォームよりご登録いただきますようお願いいたします。

### FAXによるお客様登録は…

FAX  0120 - 926413

### インターネットによるお客様登録は…

<http://www.nepon.co.jp/>



# 保証とアフターサービス

## 保証について

- この製品は、保証書を添付していません。  
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。  
保証期間中でも有料となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後12年です。  
補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼される時

27～28ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」に従ってお調べいただき、なお異常があるときは、元電源を切って（電源プラグがある場合は、電源プラグを抜いて）、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接修理をお申し込みいただけます。  
必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

### ■保証期間中は…

修理に関しては保証書をご覧ください。  
保証書の規定に従って修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは…

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・交通費から構成されています。

**技術料**…故障した商品を正常に修復するための料金です。

**部品代**…修理に使用した部品代金です。

**交通費**…車両・移動に必要な料金です。

### ■ご連絡いただきたい内容

- 品名      ●型式
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- お名前      ●電話番号
- ご住所（付近の目印などもあわせてお知らせください）
- 訪問希望日

## 修理のご用命は…

お買い上げの  
販売店

または

お近くの  
ネポン営業所

## ご相談

サービスセンター

☎(046) 247-3195

月曜日～金曜日 9:00～17:00

FAX  0120-926413

お買い上げ年月日／

年

月

日

お買い上げ販売店／

電話番号 (

)

—

お客様へ

お買い上げ年月日、  
販売店名を記入してください。  
サービスを依頼される時、  
お役に立ちます。

# ネポン株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

URL : <http://www.nepon.co.jp/>